

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 - II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 - III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 - IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 - V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、III、V】
2 実施対象者	札幌市立中央中学校 【日時】平成29年12月22日(金) 【対象】1年生 生徒113名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	他者との共生の思いをもちながら生涯にわたって運動やスポーツに楽しむ態度の育成を図る。
5 取組内容	1 学年を対象に「保健体育科」のバレーボールの授業として1時間扱いで実施した。 【講師】成田 郁久美さん バレーボール 1996年トリノ、2004年アテネオリンピック出場 【体験学習概要】 ①講師紹介 ②ウォームアップ ③グループ練習 ④ミニゲーム ⑤まとめ  成田郁久美さん  生徒たちは成田さんからのポイントに熱心に耳を傾けて受講

	1 時間の授業の中でゲームにつながる動きを多く取り入れた運動を行った。その際にはバレーボールの特性に基づいた考え方や、運動を実践する上でのポイントを分かりやすく伝えていただいた。 まとめの際には、ご本人のバレーボールとの関わりや、選手としてオリンピックに挑戦する中で学んだこと、今の中学生に大切にしてほしいことについてお話をしてくださった。
6 主な成果	・ゲームにつながるスキル練習では、チーム内でのコミュニケーションとボールを持っていない時に、どう準備をしておくかという点に重きを置いてお話をいただいた。 ・グループ練習の際には、各グループ間を丁寧に見ていただき、詳細なアドバイスを数多くいただくことができた。 ・オリンピック選手としての栄光だけではなく、選手として大会に挑む過程での考え方や意識の変化、その中で得た学びなどは、生徒にこれからの生活の中で大切にほしい内容が多く盛り込まれていた。 ・バレーボールを含むスポーツへの更なる興味・関心の高まりにつながった。 ・講師の経験を基に、スポーツだけではなく、何事にも目標を明確にもつことの大切さをお伝えいただいた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8 主な課題等	今回は、1 学年全体で 1 時間扱いの授業として実施した。可能であれば、1 クラスずつの実施形態をとることや、複数時間を配当すること、複数の講師を招くことでより効果的な学習とすることができる考える。
9 来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。